



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワキタ
 コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 脇田 貞二
 (氏名) 小田 俊夫

TEL 06-6449-1901

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	28,886	10.2	4,536	9.1	4,626	8.5	2,820	6.8
26年2月期第2四半期	26,206	12.0	4,157	47.8	4,264	47.6	2,641	61.8

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 3,069百万円 (10.3%) 26年2月期第2四半期 2,782百万円 (89.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	54.23	—
26年2月期第2四半期	54.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	106,073	79,631	75.1
26年2月期	105,130	77,862	74.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 79,631百万円 26年2月期 77,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	6.8	8,500	8.0	8,500	5.5	5,200	0.4	99.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	52,021,297 株	26年2月期	52,021,297 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	15,354 株	26年2月期	14,302 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	52,006,277 株	26年2月期2Q	48,623,094 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)におけるわが国経済は、日銀による金融緩和の継続や政府の機動的な財政支出により緩やかな景気回復基調を示しておりましたが、夏場の想定外の天候不順により個人消費が冷え込んだ結果、足踏み状態が続き、地域によっては景況感の悪化が見られた時期でありました。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は288億86百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は45億36百万円(前年同期比9.1%増)、経常利益は46億26百万円(前年同期比8.5%増)、四半期純利益は28億20百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業は、販売部門では期初における消費税増税前の駆け込み需要や資産機の売却、小型発電機その他の周辺機器の販路拡大等に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。また賃貸部門におきましても政府の公共事業に対する継続的な予算執行や民間での設備投資の持直し等により、前年同期を上回る売上高を計上することができましたが、前期に実施した貸与資産への積極的な設備投資により、賃借料や減価償却費等の売上原価が増加しました。

その結果、建機事業全体の売上高は201億8百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益は34億67百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

② 商事事業

商事事業は、遊戯関係設備のファイナンス案件の増加が他の分野での減少を補い、売上高は微増となりましたが、競争激化により利益率が低下しました。

その結果、商事事業全体の売上高は70億12百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は2億88百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業は、賃貸部門はほぼ横這いで推移しましたが、戸建分譲等の販売部門の取扱いが前年同期を大幅に下回りました。

その結果、不動産事業全体の売上高は17億65百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は7億80百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億43百万円増加し、1,060億73百万円となりました。これは主に、有価証券の増加10億99百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億25百万円減少し、264億42百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少9億53百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億68百万円増加し、796億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加15億20百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は75.1%、1株当たり純資産額は1,531円19銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ14億46百万円(5.3%)増加し、286億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、41億30百万円（前年同期は30億29百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益46億27百万円、減価償却費18億48百万円、法人税等の支払額19億18百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、2億44百万円（前年同期は9億86百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億69百万円、投資有価証券の取得による支出2億4百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、24億41百万円（前年同期は23億71百万円の収入）となりました。これは主に、設備関係割賦債務の返済による支出10億28百万円、配当金の支払額12億95百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益各項目ともに前年同期を上回っておりますが、平成27年2月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成26年4月4日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,157	24,503
受取手形及び売掛金	21,451	21,501
有価証券	2,999	4,099
商品	2,135	2,165
貯蔵品	50	42
その他	792	656
貸倒引当金	△307	△342
流動資産合計	51,279	52,627
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産 (純額)	7,746	7,350
賃貸不動産 (純額)	32,145	31,845
土地	4,083	4,083
その他 (純額)	2,942	2,779
有形固定資産合計	46,917	46,058
無形固定資産	472	439
投資その他の資産		
投資有価証券	5,565	6,057
その他	1,038	1,045
貸倒引当金	△142	△154
投資その他の資産合計	6,461	6,948
固定資産合計	53,851	53,446
資産合計	105,130	106,073
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,991	10,038
未払法人税等	1,970	1,848
賞与引当金	169	212
その他	4,392	4,583
流動負債合計	17,523	16,682
固定負債		
退職給付引当金	93	117
役員退職慰労引当金	972	927
その他	8,678	8,714
固定負債合計	9,744	9,759
負債合計	27,268	26,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	48,931	50,451
自己株式	△15	△16
株主資本合計	79,365	80,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	750
土地再評価差額金	△2,003	△2,003
その他の包括利益累計額合計	△1,502	△1,252
純資産合計	77,862	79,631
負債純資産合計	105,130	106,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	26,206	28,886
売上原価	18,838	21,103
割賦販売未実現利益繰入額	312	257
割賦販売未実現利益戻入額	232	274
売上総利益	7,287	7,799
販売費及び一般管理費	3,130	3,262
営業利益	4,157	4,536
営業外収益		
受取利息	40	41
受取配当金	58	47
為替差益	52	9
その他	52	40
営業外収益合計	203	139
営業外費用		
支払利息	44	48
遅延損害金	30	-
その他	21	0
営業外費用合計	96	49
経常利益	4,264	4,626
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	1	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	4,262	4,627
法人税、住民税及び事業税	1,632	1,802
法人税等調整額	△11	4
法人税等合計	1,621	1,807
少数株主損益調整前四半期純利益	2,641	2,820
四半期純利益	2,641	2,820

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,641	2,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	249
その他の包括利益合計	141	249
四半期包括利益	2,782	3,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,782	3,069

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,262	4,627
減価償却費	1,561	1,848
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△147	45
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43	42
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3	24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19	△44
受取利息及び受取配当金	△98	△89
支払利息	44	48
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,477	△50
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	292	△952
その他	210	530
小計	4,686	6,008
利息及び配当金の受取額	97	88
利息の支払額	△44	△48
法人税等の支払額	△1,709	△1,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,029	4,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△298	△169
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△718	△204
投資有価証券の売却及び償還による収入	14	62
貸付けによる支出	△84	△97
貸付金の回収による収入	108	143
その他	△10	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△986	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△113	△115
設備関係割賦債務の返済による支出	△1,023	△1,028
自己株式の取得による支出	△6	△1
自己株式の処分による収入	1,211	-
配当金の支払額	△921	△1,295
株式の発行による収入	3,225	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,371	△2,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,447	1,446
現金及び現金同等物の期首残高	19,714	27,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,162	28,603

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,418	6,855	1,932	26,206	—	26,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	21	—	56	△56	—
計	17,453	6,876	1,932	26,262	△56	26,206
セグメント利益	2,990	339	827	4,157	△0	4,157

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,108	7,012	1,765	28,886	—	28,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	14	—	60	△60	—
計	20,154	7,026	1,765	28,946	△60	28,886
セグメント利益	3,467	288	780	4,536	△0	4,536

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。